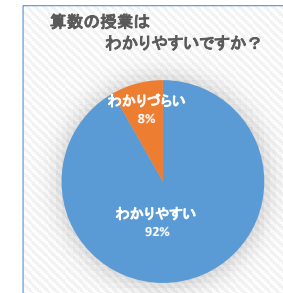
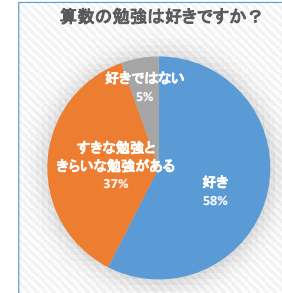
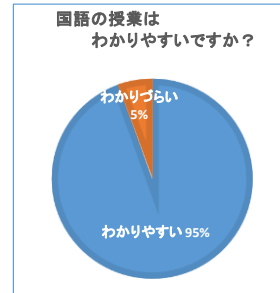
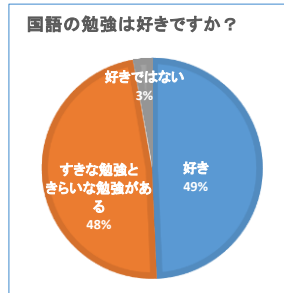


H30.5実施 国語・算数アンケート 結果の分析



アンケート結果がまとまりました。取組にご協力いただき、ありがとうございました。2枚目に以降に、全体及び学年別の集計結果を載せてありますので、ご覧ください。

【国語について】

○国語の授業が「わかりやすい」という回答が95%でした。丁寧でわかりやすい授業実践の積み重ねの結果だと思えます。これからも日々の授業を大切にしていって積み重ねていきたいと思います。

○「国語の勉強は好きですか？」という質問に対し、「好きではない」、「好きな勉強と好きでない勉強がある」と答えた児童が51%いました。各学年の学習活動別の結果は、別紙の表にまとめています。

・「好き」の回答が多かったのは、グループでの話し合いや発表、友達の話を聞くこと、漢字を書いたりする、色々な言葉を知る(辞典)、読書をするなどでした。今後は、普段の授業から辞書を手元に置いて学習することも取り入れてみてほしいかもしれません。習慣化すると自主的に短時間で調べられる力がつくはずです。

・読書については、学年が上がっても、肯定的な意見が多かったです。今後の朝読書の取組が、児童の読書に対する意識のモチベーションや成果へのつながりとの関係性をしっかり分析していく必要があると考えています。

・「好きではない」の回答が多かったのは、音読、作文、視写、考えた事を発表する事の活動でした。

・書くことに関して「好き」と答えた割合が60%以下だったのは5学年(1年生以外)ありました。作文については、中学年になると絵日記から文章のみの作文に移行することが関係しているのか、書き方がわからないのか、文章量が辛いのか、構成メモ等の下準備が難しいのか等を踏まえて指導にあたる必要があります。

・「自分の考えたことを発表する。」活動が好きな児童が60%以下の学年が4学年(2, 3, 4, 6年)あります。

この要因が、①自分の考えがまとまらない、②適切に話せない、③書かないと話せない、④メモできない、⑤聞かれていることが分からない…等のどれに当てはまるのかを把握する必要があります。必要に応じて、話す前に書く活動を取り入れたら、高学年であれば聞く際にメモを取って発表に備えたりする等の活動を取り入れてみてはどうかと考えています。

【算数について】

○算数の授業が「わかりやすい」という回答が92%でした。記述面からも、「先生がわかりやすく教えてくれる」という意見が多く、安心して授業に臨んでいる児童が多くいることがわかります。

○コース別の学習について、肯定的な意見が多く記述されていました。子ども達の中でコース別の学習形態が定着してきたことは、さらなる学習意欲のつながりとして表れていくように指導していければと思います。ただし、コース別の学習形態に安心しての記述なのか、友達関係が影響しての記述なのかの見極めは必要ですね。

【今後に向けて】

○国語の単元の指導計画や1時間の授業の構成を考える際、今回の児童アンケートを授業づくりを考える際の1つの材料として、日常の授業に活かしていただけたらと思います。